

衆議院小選挙区選出議員選挙公報

(佐賀県第1区選挙区)

佐賀県選挙管理委員会

安倍暴走政治
ストップ！

若者の声が活きる社会を！オスプレイいらない！



日本共産党

古賀まこと

党県働き方対策部長・29才

消費税の増税で県内業者の営業は深刻な打撃を受けました。社会保障の改悪で生活保護世帯、年金生活者など社会的に弱い立場の人たちのくらしは壊されました。安倍暴走政権を終わらせ、くらしと命を守る政治へ転換する絶好のチャンスです。待ちに待った総選挙。頑張ります！日本共産党を大きく躍進させていただき佐賀から政治を変えましょう

私が政治を志した2つの思い

働き方 私が無かったらファーストフード店では長時間過密労働が当たり前、ひどいパワハラもありました。いつも「職場から逃げたい」と思っていました。同じ思いで働いている若者は少なくないと思います。私は若者が働きやすい社会へ、ブラック企業規制、働くルールづくりに取り組みます。

いのち 安倍首相が進めてきた、戦争をする国づくりで憲法は解釈で変えられようとしています。集団的自衛権行使に踏みだそうとしています。佐賀県ではオスプレイ配備が狙われ軍事拠点化しようとしています。戦争で若者に血を流させない、命を守り平和を守る政治へ、力いっぱい取り組みます。

ストップ！「アベノミクス」

所得・雇用の安定で内需拡大

(1) 地域経済再生へ、くらし応援、雇用の安定若者が住み続けるためにも、時給千円以上で所得を増やし、購買力を刺激します。

(2) 中小企業応援で地域経済活性化多くの若者が働く地元企業を守るために下請けいじめをやめさせ取引の適正化に取り組みます。「新規採用」「賃上げ」に取り組む中小企業向けの予算を増やします。

(3) 最低保障年金と医療充実でくらし応援低年金、無年金の解消に取り組み、安心して暮らせる老後に。医療費窓口負担や国保税を引き下げます。

消費税10%増税はキツパリ中止

今の不況は消費税を増税したことが原因です。さらなる10%への増税は許せません。大企業・富裕層に応分の負担を求め財源を確保します。

原発即時ゼロ、自然エネルギーへ

日本一危険な玄海原発。再稼働許さず、即時ゼロに。太陽光、小水力、風力、バイオマスなど自然エネルギー・再生可能エネルギーへの転換で、雇用、地域経済にも役立てます。

佐賀農業、有明海・玄海の再生

TTPに反対し食料主権の確立。食料自給率を当面50%に。価格保障と所得補償で成り立つ農業に。1日も早い開港で有明海再生を。玄海灘の海砂採取を規制し漁場を改善します。

オスプレイ配備、軍事化でなく北東アジア平和協力構想を

北部九州を軍事拠点にする佐賀空港へのオスプレイ配備は絶対に許しません。世界とアジアの流れは、軍事力ではなく、

話し合いによる紛争解決です。日本共産党と古賀まことは、憲法を守り、北東アジア平和協力構想を提案します。



The Democratic Party of Japan

民主党

1 社会保障があぶない！

来年、年金のみならず、介護報酬(介護予算)や障害福祉の報酬も下げられようとしています。子育て支援の財源もカットされようとしています。一方、法人税は減税され、公共事業は年2兆円増。消費税8%の増税分が社会保障に回っていません。安倍政権が選挙で勝てば、社会保障は切り下げラッシュです。消費税が8%に増税されたのに、社会保障はカットされ、公共事業が増え、法人税減税に予算が回ること。私は社会保障を守ります！

2 若者の将来・雇用を守ります！

現政権与党は、労働者派遣法の改悪、残業代ゼロ制度、解雇の金銭解決などを可能にする制度を導入しようとしています。派遣労働者を増やして、正社員を減らし、残業代をゼロにし、一定のお金を払えば、簡単に解雇できる社会になれば、日本社会は崩壊します。ブラック企業が増え、過労死が増え、望んでも若者がなかなか結婚できない社会になります。安定雇用があって初めて消費が増え、景気も回復します。

3 食の安全・安心を守ります！

美味しく安全な食を守るため農業者戸別所得補償制度を法制化します。徹底した情報公開を求め、脱退も辞さない厳しい姿勢でTPPIに臨みます。諫早湾干拓開港調査を実現させて、豊かな干潟の再生を図り、「宝の海有明海」の復活を目指します。

今年夏、複雑骨折、歩行不能というこれまでの人生で一番の大きけがに見舞われました。そして、最愛の妻と父を相次いで失いました。十分に動けない中、解散総選挙。人生最大の試験です。しかし、懸命のリハビリと皆様のご協力、ご支援で回復しつつあります。困難な状況に置かれたことで、私以上に困難な方々を救いたいと、その思いをより一層強くしました。命をかけ、政治にまい進しよう決意を新たにしました。どうか、最後まで、ご支援の輪を掛けて頂きますようお願い申し上げます。

原口一博

かけがえのない命を守る

原口一博が目指すもの。

暮らしを守ります！

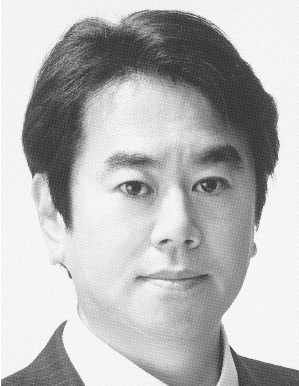
アベノミクスが、庶民や中小企業や地方には恩恵がなかったのは佐賀県民の実感の通りです。アベノミクスの円安政策により、物価は上がり、実質賃金は15か月連続マイナス。株価は上昇していますが、庶民の暮らしは苦しくなり、格差が拡大しています。円安による景気対策は、物価高を招き、庶民を苦しめています。私は、この成果の見えないアベノミクスをストップさせます！

議員定数の削減を約束します！

2年前の衆議院解散のときに、政治家の身を切る努力として、議員定数の削減を国民に約束しましたが、言い訳ばかりで2年たっても未だに実現しません。私たちは衆参両院の一票の格差は正と、議員定数削減を実現します。

「一強多弱」でなく「与野党伯仲」を！

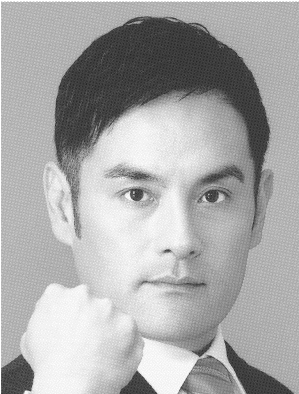
特定秘密保護法の強行採決や、集団的自衛権の閣議決定など政府は国民と国会を無視し暴走しています。こんな現在の政権与党の暴走にストップをかけるのが今回の選挙です。与党一人勝ちの「一強多弱」では、国民の声は政治に届きません。「与野党伯仲」で、国民の声が届く政治に変えましょう！



佐賀県第1区民主党公認

原口一博

誠実・若さでガンガン、真っ向勝負！！



佐賀一区自民党公認候補

岩田ちかず

私に県民の声を国に届ける役割を、あなたの力で与えて下さい！

(41才)
○ずっと佐賀育ち。地元の小学校、中学校から佐賀西高、九州大学法学部卒業。
○大前研一の秘書として、政治経済を徹底的に学ぶ。
○平成11年、25歳で佐賀県の県議会議員に。当時の全国最年少の当選。以後、3期12年を務める。
○平成24年12月、衆議院議員初当選。国土交通委員会委員、経済産業委員会委員、環境委員会委員などを歴任。

長期的ビジョン

地域の特色を活かす。地方経済を強くする。人と人の絆を創る。暮らしの安心・安全を実現させ「地方創生」を図ります。地方や佐賀を元気にすることで、日本全体を豊かにします。

3つの政策テーマ

都市の好景気を「地方経済」へ循環。佐賀を活性化します。充実した子育て環境、老後を楽しめる社会づくりを強化します。友好的な対応と毅然とした態度を使い分け、したたかに交渉します。

① 景気回復最優先

② 子どもも老人も安心の地域社会

③ 国土と平和を守る外交政策

衆議院小選挙区選出議員選挙公報（佐賀県第1区選挙区）

佐賀県選挙管理委員会



投票日は **12月14日** (日曜日)

個人に投票します

候補者名

小選挙区

投票用紙の色は
うすいピンク

小選挙区選挙

政党に投票します

政党名

比例代表

投票用紙の色は
うすいブルー

比例代表選挙

投票時間は

午前 午後

7 時から 8 時まで

※武雄市・有田町・大町町・太良町では、すべての投票所で投票時間が午後6時までとなっています。
※嬉野市のすべての投票所、唐津市・神埼市の一部の投票所で投票時間がそれぞれ変更されていますので、各市からのお知らせをご確認ください。

投票日に投票できない方は

12月14日の投票日に旅行や用務で投票できない方は **期日前投票** を利用しましょう。
期日前投票は、選挙人名簿登録地の市町で投票日前日までに投票を行う制度で、手続きも簡単です。

■期日前投票のできる期間

○衆議院議員総選挙 12月3日(水)～12月13日(土)
○国民審査 12月7日(日)～12月13日(土)
※いずれも8:30～20:00まで(土曜日・日曜日でもできます。)

比例代表選挙の選挙区は

比例代表選挙では、佐賀県は、九州選挙区(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)＜定数21人＞となります。

比例代表選挙の当選人の決定方法は

選挙区(佐賀県は九州選挙区)ごとに政党の得票数に応じて、各政党の当選人の数が決まります。
次に、政党が届け出た候補者名簿には、各候補者の「当選人となるべき順位」が記載されていますので、その順に当選人が決まります。
ただし、小選挙区選挙との重複立候補者については、候補者名簿において全員又はその一部の者の順位を同一のものとすることができるとされており、「同順位」と定められている重複立候補者間の当選順位は、「惜敗率(小選挙区選挙での最多得票者の得票に対するその候補者の得票の割合)」の高い順によることになります。(なお、重複立候補者が小選挙区で当選した場合には、候補者名簿には記載されていないものとみなされます。)



投票用紙の色は
小選挙区選挙は
うすいピンク
比例代表選挙は
うすいブルー
国民審査は
白色